

●公衆衛生に貢献した研究者を顕彰する「遠山椿吉賞」●
新田裕史（にったひろし）氏、遠山椿吉賞を
環境疫学手法によるPM2.5等の健康影響の評価に関する
研究業績で受賞。

リアルタイム・オンサイトの衛生微生物モニタリングの
研究で、奨励賞に山口進康（やまぐちのぶやす）氏が決定。

一般財団法人東京顕微鏡院
医療法人社団こころとからだの元氣プラザ

今年創業123周年を迎えた一般財団法人東京顕微鏡院と同法人の保健医療部門をルーツとする医療法人社団こころとからだの元氣プラザは、公衆衛生に貢献する研究者の顕彰制度、「遠山椿吉記念 第4回 食と環境の科学賞」（副賞100万円）について、環境疫学手法によるPM2.5等の大気汚染物質の健康影響の評価に関する功績を称え、新田裕史 国立環境研究所 環境健康研究センター センター長の授賞を決定しました。

また、奨励賞として、生菌を迅速に（real-time）、その場で（on-site）検出できる新たな衛生微生物モニタリングを幅広い分野に実用化した研究成果を称えるとともに、既成の微生物培養法に代わる手法としてその今後の発展を期待し、山口進康 大阪大学 大学院薬学研究科 衛生・微生物学分野 准教授に、「遠山椿吉記念 第4回 食と環境の科学賞 奨励賞」（副賞50万円）を授与することを決定しました。

遠山椿吉賞は、食と環境分野、予防医療分野を隔年で公募し、選考委員会による厳正な審査を重ね、当法人経営会議に選考委員長同席のもと協議を行い、決定しました。

授賞式・記念講演は、平成27年2月17日（火）、都内で関係者を招き開催いたします。

授賞理由

新田氏：大気汚染物質などによるヒトへの曝露と健康影響との関連はグローバルに拡大しつつある公衆衛生の課題だ。受賞者は、環境省が実施した幹線道路沿道の住民における自動車排ガス曝露に関する疫学研究（そらプロジェクト）と、PM2.5及び黄砂の越境大気汚染による健康影響に関する疫学研究を実施し、複数の研究機関の研究者との共同研究において、複雑な環境疫学手法により、各研究課題における企画・解析の中心的な役割を担った。これらの研究業績は国際的な学術誌に掲載されただけでなく、日本の大気汚染防止対策の立案や環境基準設定などに大きく貢献した。非常に大きな公衆衛生への貢献である。

山口氏：現状の微生物検査の多くは培養を基本としているが、結果に数日を要するため迅速な対応が難しいという課題がある。受賞者が開発した蛍光活性染色法は、微生物を培養することなく蛍光シグナルをもとに検出する技術であり、数分から数十分間で結果が得られ、迅速性がある。水環境や飲料水の細菌検査やモニタリング検査に応用され、自動化システムも開発している。宇宙航空研究開発機構（JAXA）との共同研究では宇宙ステーション内の微生物モニタリングの検討も進められており、食品の微生物学的安全性評価のための技術開発も期待される。

*遠山椿吉賞について詳細は添付をご覧ください。

報道機関からのお問合せ先：

公益事業室 担当 三橋（みつはし） TEL03-5210-6651 メール：mitsu@kenko-kenbi.or.jp

遠山椿吉賞について

創業者遠山椿吉、生誕 150 年没後 80 年である平成 20 年度に創設し、「食と環境の科学」部門、「健康予防医療」部門を、隔年で選考顕彰しています。

本賞の趣旨：

創業者遠山椿吉の生き方を尊重し、病を予防あるいは早期に発見し治療へつなげるという予防医療の基本目標について、地道に社会への貢献を追求する研究者を顕彰する賞と位置づけています。

賞の趣旨として、過去 5 年以内の業績を評価対象とし、すでに他の顕彰対象となったものは選考資料として採用しないことを定めて選考顕彰を行います。

目的：

遠山椿吉賞は、公衆衛生の領域で、人びとの危険を除き、命を守るために、先駆的かつグローバルな視点で優秀な業績をあげた個人または研究グループを顕彰し、公衆衛生の領域での学術向上に寄与することを目的とします。

対象	日本を拠点に活動する個人の研究者または研究グループ
選考条件	原則として最近の業績(調査、研究、技術の開発など)を評価対象とする。業績とは、この 5 年間に 関連学会で発表された原著論文、または、それに準ずる活動報告書とする。授賞業績の要旨を 両法人発行の広報誌に掲載し、記念講演を行う。記念講演の講演録をする権利は、一般財団法人 東京顕微鏡院に帰属する。 <u>既に他の顕彰などの対象となったものは、選考資料として採用しない。</u>
選考基準	以下の 4 点で総合評価する。 1.公衆衛生への貢献度 2.研究・技術の独自性 3.技術の普及の可能性 4.社会へのインパクト
申込み	公募によるものとし、関係学会、団体等の推薦または本人の申請による。 所定の応募・推薦用紙に、受賞候補者略歴と業績一覧、原著論文を添付のうえ、期限内に申し込む。
応募期間	平成 26 年 4 月 1 日より 6 月 30 日(消印有効)
応募と選考の流れ	自薦または学識者からの推薦を受けて、所定の用紙に記載のうえ、論文または活動報告書等書類を 添付して、事務局宛郵送。 選考委員会において選考の上受賞候補者 1 件を採択し、10 月に両法人合同の経営会議の承認を 経て受賞者を決定。 受賞者は、平成 27 年 2 月 17 日に予定される授賞式に出席し、記念講演を行うこととする。 尚、優れた業績がある 50 歳未満の応募者に対して本賞以外に奨励賞を設け(年齢は応募時点)、 また、年齢に関わらず顕著な業績が認められる応募者に対して本賞以外に特別賞を設け、顕彰する 場合がある。
賞および副賞	賞状、記念品。副賞として 100 万円。

本年度の優先課題：

食品の安全、感染症、生活環境衛生を重点課題としました。

食品の安全：たとえば、食品やヒト媒介微生物、残留化学物質、天然有毒・有害物質、食品添加物、
食物アレルギー、器具・容器包装などに関する調査研究やこれらの分析法の開発、食品中の放射能汚染
など、食品の安全に関わるものです。

生活環境衛生：たとえば、シックハウス、アスベストやダニ、カビなど室内環境、大気汚染、ビル衛生、
飲料水の安全性、水と感染症の問題などです。

遠山椿吉とは：

明治時代に、日本で初めて臨床検査の専門機関「東京顕微鏡院」を創立し、技師の養成、学会誌発行、
市民への普及啓発など公衆衛生に力を尽くした細菌学者、医学博士。初代東京市衛生試験所所長を兼任し、
伝染病予防のため水質に着眼し、東京に安全な水道水の供給を実現。予防医療を提唱して健康診査を実施し
ました。

過去の受賞者：次ページをご覧ください。

遠山椿吉賞 歴代受賞者一覧： 遠山椿吉賞は、食と環境の科学賞と健康予防医療賞の2部門を、隔年で選考顕彰します。

食と環境の科学賞

回	遠山椿吉賞	遠山椿吉賞 奨励賞
第1回 (平成20年度)	<u>ノロウイルスによる食中毒の発生要因の解明と予防策の樹立に関する研究</u> 西尾 治 国立感染症研究所 感染症情報センター 研究員	<u>食品衛生微生物の簡易迅速検査法の開発と有効性の評価、食品衛生向上手法の開発</u> 川崎 晋 (独)農業・食品産業技術総合研究機構 食品総合研究所
回	遠山椿吉賞	遠山椿吉賞 特別賞
第2回 (平成22年度)	<u>魚介類アレルゲンの同定と分子生物学的性状の解明ならびに検査法開発に関する研究</u> 塩見 一雄 国立大学法人 東京海洋大学 教授	<u>食と環境の難分解性環境汚染物質の長期モニタリング</u> 小泉 昭夫 京都大学大学院医学研究科環境衛生学分野教授
回	遠山椿吉賞	遠山椿吉賞 功労賞
第3回 (平成24年度)	<u>マイコトキシンの毒性発現機序ならびに健康リスク評価に関する研究</u> 小西 良子 国立医薬品食品衛生研究所衛生微生物部部長	<u>シックハウス症候群、化学物質過敏症および関連疾患の診断、治療、疫学、対策に関する研究</u> 石川 哲 元北里大学医学部長、元日本臨床環境医学会理事長、北里大学名誉教授

健康予防医療賞

回	遠山椿吉賞	遠山椿吉賞 特別賞
第1回 (平成21年度)	<u>高齢者の生活機能の維持・向上と介護予防を目的とした包括的健診の開発と普及についての調査研究</u> <u>—超高齢社会における新たな健康維持と予防医療へ向けての科学的取組み—</u> 鈴木 隆雄 国立長寿医療センター研究所 所長 ※上記は、東京都老人総合研究所(現 地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター)在職時における研究成果である。	<u>国際標準化を通じた国内臨床検査室の脂質測定精度の向上とその臨床研究・疫学研究・公衆衛生施策への応用</u> 中村 雅一 大阪府立健康科学センター 脂質基準分析室 室長
回	遠山椿吉賞	遠山椿吉賞 特別記念賞
第2回 (平成23年度)	<u>骨粗鬆症診療体制の確立にむけての臨床疫学コホートの構築(Nagano Cohort 研究)</u> 白木 正孝 成人病診療研究所 所長	<u>生活習慣病の時代的変遷およびその現状と課題に関する疫学調査(久山町研究)</u> 久山町研究グループ 代表:清原 裕(九州大学大学院医学研究院環境医学分野教授)
回	遠山椿吉賞	遠山椿吉賞 特別賞・奨励賞
第3回 (平成25年度)	<u>医療費評価を通じた医療保険者の保健事業の質向上に関する研究</u> 岡山 明 公益財団法人 結核予防会第一健康相談所 所長、生活習慣病予防研究センター長	《特別賞》 <u>日本人の糖尿病診断基準に関する疫学研究—ブドウ糖負荷試験の経年観察データに基づく—</u> 伊藤 千賀子 医療法人グランドタワー メディカルコート理事長 《奨励賞》 <u>感染症流行のリアルタイム分析と疫学動態の定量化</u> 西浦 博 東京大学大学院 医学系研究科 国際保健学専攻 国際保健政策学 准教授

※所属は受賞当時